

実態把握をもとに定着状況を確認しましょう①

～学力定着状況確認テストの結果より～



©岡山県「ももっち」

今号では、2学期後半に実施した学力定着状況確認テストの自校採点結果からみえる県全体の傾向を紹介し、各学校における今年度の取組状況の確認や年度末における学力保障の取組の参考にしてください。

小学校算数の成果 → 上位学年で同じ問題の正答率が上がっている。

学年	問題の概要	正答率		
		岡山県 (自校採点)	全国 (公立)	ベンチマーク
【5年】				
1(3)	6+0.5×2 を計算する	77.4	66.6	10.8
【4年】				
2	分度器の目盛りを読み、180°より大きい角の大きさを求める	67.9	58.0	9.9
【5年】				
9(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	53.3	51.5	1.8

学年	問題の概要	正答率(%)		
		岡山県 (自校採点)	全国 (公立)	ベンチマーク
【6年】				
1(2)		↑ 82.4	66.6	15.8
【5年】				
4		↑ 84.1	58.0	26.1
【6年】				
8(3)		↑ 68.3	51.5	16.8

算数では、複数学年で同じ問題を出題したところ、学年が上がるにつれて、正答率が上がっていました。知識・技能の設問だけでなく、思考・判断・表現の設問でも、同様の傾向が見られました。

小学校算数の課題 → 基礎的な計算で正答率が80%に満たない。

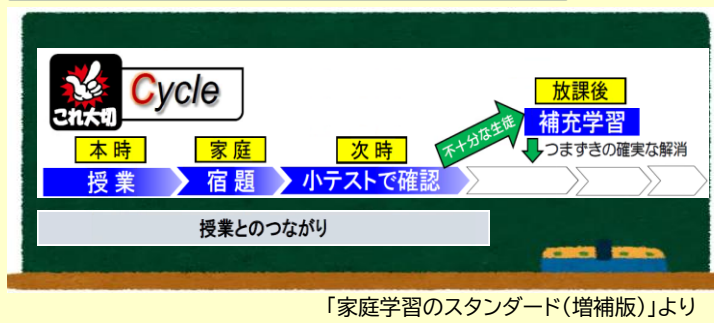
学年	問題の概要	正答率		
		岡山県 (自校採点)	全国 (公立)	ベンチマーク
【4年】				
1(2)	123×52 を計算する	72.1	85.2	-13.1
1(4)	912÷4 を計算する	75.6	89.6	-14.0

情報提供いただいた県事業校の結果を集計したものを示しています。

【80%を超えているが全国平均に満たない設問】
○ 午後1時35分から50分後の時刻
(条件に合う時刻を求めることができる。)

4年生では、知識・技能の定着に課題が見られました。既習事項の確実な定着が、新たな知識・技能を習得していく上で欠かせません。各学校においても、今回の結果を分析し、課題を確認してみましょう。

つまずきの確実な解消に向けて **重要!** 授業で、課題のあった問題を取り上げましょう。



- 宿題などの**家庭学習**に、つなげましょう。
- 小テスト**等で学習内容の定着を確認しましょう。
- 補充学習**などの時間を設定しましょう。
- 年度内に、つまずきの解消を図りましょう。

さらに一步、主体的な学びを!
○「ふりかえりプリント集」を活用して → 春休みの自主学習
○児童生徒の一人一台端末を活用して → 児童のペースに合わせた学習

年度内に学習内容の指導を終わらせることだけでなく、児童生徒に付けたい力を確実に定着させることも欠かせない視点です。今回の小学校算数で見られた基礎的な知識・技能を定着させることが、次年度以降の学習につながります。各校における児童生徒の状況を把握し、児童生徒の「分からない」を「分かった!」にするために、実態に応じた取組を学校全体で進めていきましょう。

